

3年1組 国語科学習指導案

日時：令和4年10月22日（土）第Ⅱ公開
 場所：4F彩りの間 学級：3年1組（35名）
 授業者：川久保 智子

3 単元構造図 3年生「自らの考えを」(全5時間)

「合意形成に向けて話し合おう～課題解決のために会議を開く～」

【第3学年「思考力、判断力、表現力等」の目標】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【単元を貫く課題】

違う意見をもった仲間同士がお互いに納得して結論に向かうにはどう話し合えばよいだろう。

【子供の実態】

中学校2学年の話し合うこと「討論」までに、体験や知識を根拠として自分の考えに信憑性をもたせたり、機器を利用して資料を提示してより説得力をもたせたりする力を身に付けている。しかし、体験と場面想起の違いの理解が曖昧な生徒や、知識においては、インターネット上の情報を咀嚼することなく、自分の知識として発言に利用する子供もいる。社会で通用する話す力を身に付けるために情報の扱い方やその内容を効果的に活用する力を付けたい。

【身に付けてきた本単元に関わる力】

2年生：自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

【単元を貫く言語活動】

コートジボワールを支援する活動について話し合い、誰もが納得する結論となるよう合意を形成する。

【本単元の「つきたい力」】(◎重点指導事項)

◎話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有（A一オ）
 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりする力

■分類整理する（実践的に話し合う力を付ける）

第4時

【ねらい】
 各グループの発表を聞き、共通点から提案を分類・整理することができる。
 【評価規準】
 各グループの発表から共通する点を見つけることを通して、分類することができることに気づき、各提案を整理していくことができる。（思考力・判断力・表現力A(1)オ）

■組み立てる（自分の考えをもつ基盤をつくる）

第2時

【ねらい】
 課題解決に向けて解決の手がかりを得るために、ブレインストーミングを行い、できるだけ多くのアイデアを出すことができる。
 【評価規準】
 できるだけ多くのアイデアを出している。（主体的に学習に向かう態度）
 評価の観点に従って提案を共通点や相違点を基に仕分けしている。（思考力・判断力・表現力A(1)ア）

単元前の教科横断的な学習とのつながり

【学ぶ必然】
 ・学活やSTなどで違う考え方が出た時に結論を出すのが難しい。
 →全員が納得する結論をだせるようにしたい。
 【話し合う必然】
 総合的な学習の時間
 ・平和学習→世界とのつながり
 →コートジボワール支援活動での具体的な動きを決める。

【5つの言語意識の明確化】

【目的】 コートジボワールを支援するための活動について合意を形成しながら決定する。	【相手】 学級の仲間	【方法】 効果や実現性を基に検討する。	【場面・状況】 ・より多くの人に参加してほしい。 ・活動できる授業時間は3時間しかない。	【評価】 互いの意見のよいところを組み合わせ、合意形成に向けて話し合うことができる。
--	---------------	------------------------	--	---

【単元の出口における子供の意識】

前回のスピーチで学んだ相手の心に響かせるためには「信頼」できる話し方や、熱意が伝わる「感情」がこもった話し方は、今回の実現性や効果を仲間に伝えるところで役に立った。そして、これまでと大きく違うことは一方的な自分の思いを語るのではなく、相手のよさを生かしながら合意を形成することだ。自分の考えが少しでも反映されているからこそ、その意見は自分自身の意見として納得できるのだと理解した。

学びを確実にする教科横断的なつながり(学びを活用する場)

特別活動「巣立ち活動」

・学級で行う活動について話し合っ決定し、実施する。
 社会科「模擬裁判をやってみよう」
 ・事件、事案について役割分担を行い、それぞれの言い分を基に判断する活動。

■合意形成する（実践的に話し合いながら学びを確かなものにする）本時

第5時

【ねらい】
 合意形成に向かう活動を通して、共通点や相違点を捉え、誰もが共通している点を生かすことで建設的に話し合えることに気づき、全員が納得する結論へ導くことができる。
 【評価規準】
 共通点を結合したり、良さを付加したりしながら建設的に考えている。（思考力・判断力・表現力A(1)オ）

■組み立てる（自分の考えの根拠を明確にする）

第3時

【ねらい】
 グループの提案をより説得力のあるものとするために、信頼性の高い情報を基に根拠を表したり、論理の展開を考えたりすることができる。
 【評価規準】
 情報の信頼性を高めるために情報源について確認したり、複数の情報を比較したりしている。（知識・技能(2)イ）
 論理の展開を考え、話の構成を工夫している。（思考力・判断力・表現力A(1)イ）

【導入時における子供の意識】

平和学習で学んだことを基に、コートジボワールへの支援活動をやろうと決め、調べ学習を行ってきた。実際に私たちにどんなことができるのかを考え、実現に向けて動き出したい。

【今後身に付けていく、本単元に関わる力】

高等学校（現代国語オ）
 ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。
 高等学校（国語表現キ）
 ・互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。